

Business Video On-Premises Experience 12.0 v1

最終更新日: 2018 年 1 月 9 日

このデモンストレーションについて

Cisco Business Video Experience デモンストレーションの内容は、次のとおりです。

- [要件](#)
- [このソリューションについて](#)
- [トポロジ](#)
- [セッション ユーザ](#)
- [はじめに](#)
- [シナリオ 1: チーム パフォーマンス コール](#)
- [シナリオ 2: 経営幹部の仮想円卓会議](#)
- [シナリオ 3: 企業と顧客間 \(B2C\) のコラボレーション](#)
- [シナリオ 4: 公式発表のライブ イベント](#)
- [シナリオ 5: 新製品の社内トレーニング](#)
- [付録 A: デモンストレーションの保存](#)

要件

表 1. 要件

必須	オプション
<ul style="list-style-type: none"> • 以下のいずれかの MRA 対応ビデオ エンドポイント: <ul style="list-style-type: none"> o Cisco Unified IP Phone モデル 8845 o Cisco Unified IP Phone モデル DX70 または DX80 (Android でない CE オペレーティング システム搭載) o Cisco Jabber 搭載 Windows ラップトップ o Cisco Jabber 搭載 Apple iPad または iPhone • 別のビデオ エンドポイント (UCM に登録できる端末) • 1 つの B2B エンドポイント (dCloud Unified Communications に未登録のもの) • ラップトップ 	<ul style="list-style-type: none"> • AP 付きルータ (Cisco dCloud 用に登録および設定済み) • Cisco SX10 ルーム システム • その他任意の Cisco Unified Communications ビデオ エンドポイント

このシスコ ソリューションについて

Cisco Business Video Experience 12.0 v1 は、シスコ コラボレーション デバイスが持つ強みをビジネス シーンに提供することにより、ネットワーク全体における意思決定と情報共有を迅速化することができます。モビリティ製品によって移動先でも接続と生産性を維持できるため、ホーム オフィスで作業している場合や、あるいは公共のインターネット ホット スポットを経由して作業しているような場合でも、モバイル デバイスからビデオ会議のライブ セッションに参加できます。

このデモンストレーションでは **Cisco Collaboration Edge アーキテクチャ** を使用しており、VPN を使用しなくても、企業ネットワーク外部の連絡先へセキュアなビデオ コールを送信できる方法を紹介합니다。このアーキテクチャでは、シスコ ゲートウェイ製品の機能とシスコ コラボレーション ソリューションのコア機能が融合されています。両方の機能を連携させ、今日の市場で最も包括的なエニーツーエニー ソリューションを使用することで、障壁を取り除き、効率的なコラボレーションを実現できます。Cisco Collaboration Edge アーキテクチャは、セキュリティ、導入の容易さ、オープンスタンダードな相互運用性を提供しながら、エンドユーザのエクスペリエンスを改善します。

Cisco Collaboration Edge アーキテクチャの詳細については、ソリューションの [製品ページ](#) を参照してください。

Cisco Meeting Server Spaces では、WebRTC を使用した統合型ブラウザベースのビデオ会議および画面共有が提供されるため、ユーザは自分のスペースから相互に直接通話することができます。Cisco Meeting Server では個人用のスペースに加えてチーム スペースを利用可能で、チーム内のすべてのインタラクションを 1 つの場所にまとめることができます。この仮想ルームでは、音声会議とビデオ会議を開催できます。ユーザは相互にチャットしたり、作業を共有することができます。チーム スペースには制限がなく、いつでも誰でも利用できます。各スペースには固有のビデオ アドレス、音声ダイヤルインと Web リンクが与えられ、常設チャット ウォールも設置されています。

Cisco Meeting Server Space の詳細については、<https://www.ciscomeetingserver.com/enterprise-products/> [英語] を参照してください。

企業側には、このデモンストレーションによって Cisco Meeting Server セッションを記録してビデオ オン デマンド (VOD) またはライブ ストリーミング イベントとして配信可能な **VBrick Rev ソリューション** の能力とシンプルさが示されます。ビデオの使用量が消費者と企業の両方のスペースで爆発的に増加した場合、VBrick によってビデオの能力を利用し、ネットワーク内で簡単にビデオ コンテンツを配信できます。VBrick の Rev プラットフォームと DME プラットフォームの両方を組み合わせることにより、あらゆる組織は苦勞することなく、ストリーミングや録画を含むように UC 戦略を拡大し、一元化されたビデオ録画リポジトリを提供することができます。また、既存の LAN/WAN アーキテクチャに悪影響を及ぼすことのない方法で、ライブ ストリーミング イベントをサポートすることができます。VBrick ソリューションの詳細については、VBrick Rev の [データシート](#) を参照してください。

Cisco Business Video Experience の詳細については、ビデオ コラボレーションの [概要ページ](#) に加え、[Cisco TelePresence](#) および [コラボレーション](#) ビデオ エンドポイントの製品仕様を参照してください。

事前設定されたこのデモンストレーションでは、**Cisco Business Video** ソリューションを使用することで達成できる、以下のようなビジネス成果を紹介します。

1. 企業 LAN、モバイル ユーザ (MRA)、およびサード パーティのドメイン (B2B) などのさまざまなデバイスや場所で接続されたユーザとのビデオ会議へのエスカレーション。ドキュメント共有機能などのコラボレーション機能も提供します。
2. **Cisco Meeting Server** のコラボレーション ソリューションにより、カスタマイズ可能な複数参加型ビデオ会議対応リソースを使用して、幹部の間で仮想社内プロジェクトを始動できます。
3. 企業の顧客やビジネス パートナーは、ブラウザ上のビデオ会議を通してやりとりができます。

これらのシナリオはすべて、VPN を必要とせずにネットワーク外部の連絡先とセキュアなビデオ通話を受発信できる **Cisco Collaboration Edge アーキテクチャ** を活用することで実現します。各シナリオには、これらの B2B ビデオ コールを追加できます。

トポロジ

このデモンストレーションには、いくつかのエンタープライズ サーバ VM が含まれます。ほとんどのサーバは、管理者レベルのアカウントを使うことで自由に設定できます。管理者アカウントの詳細については、関連するスクリプトの手順およびサーバ詳細表で説明しています。

図 1. トポロジ概要

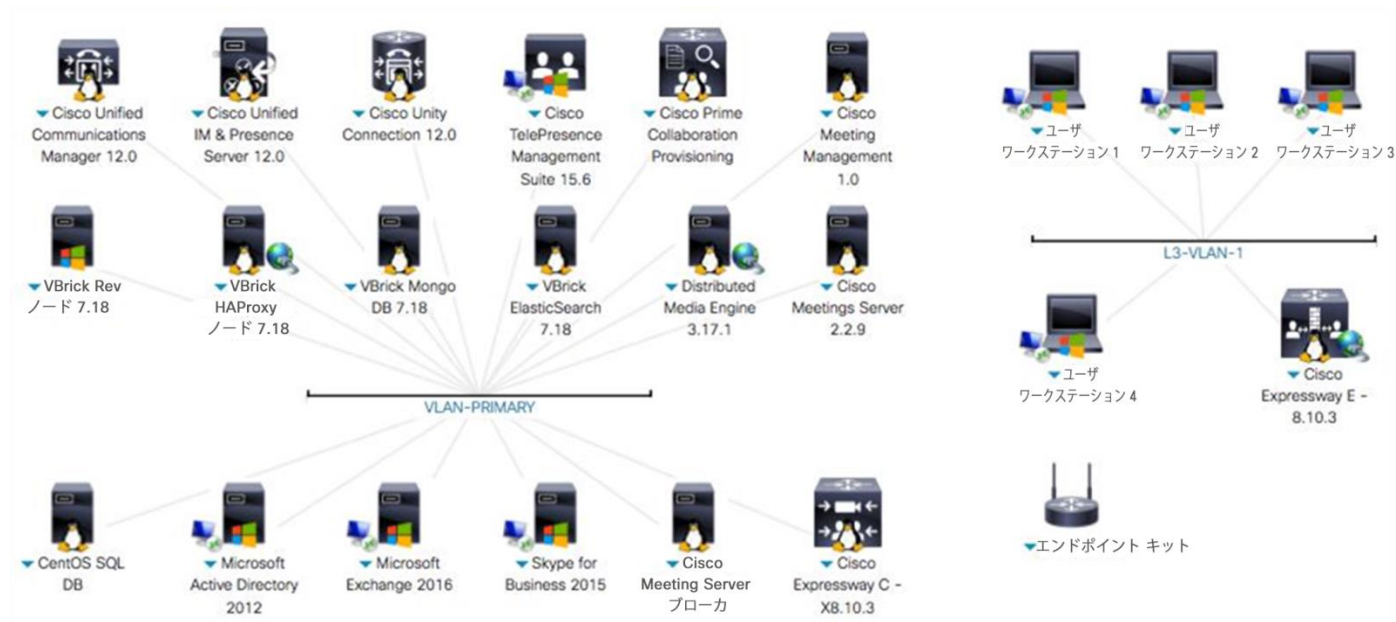
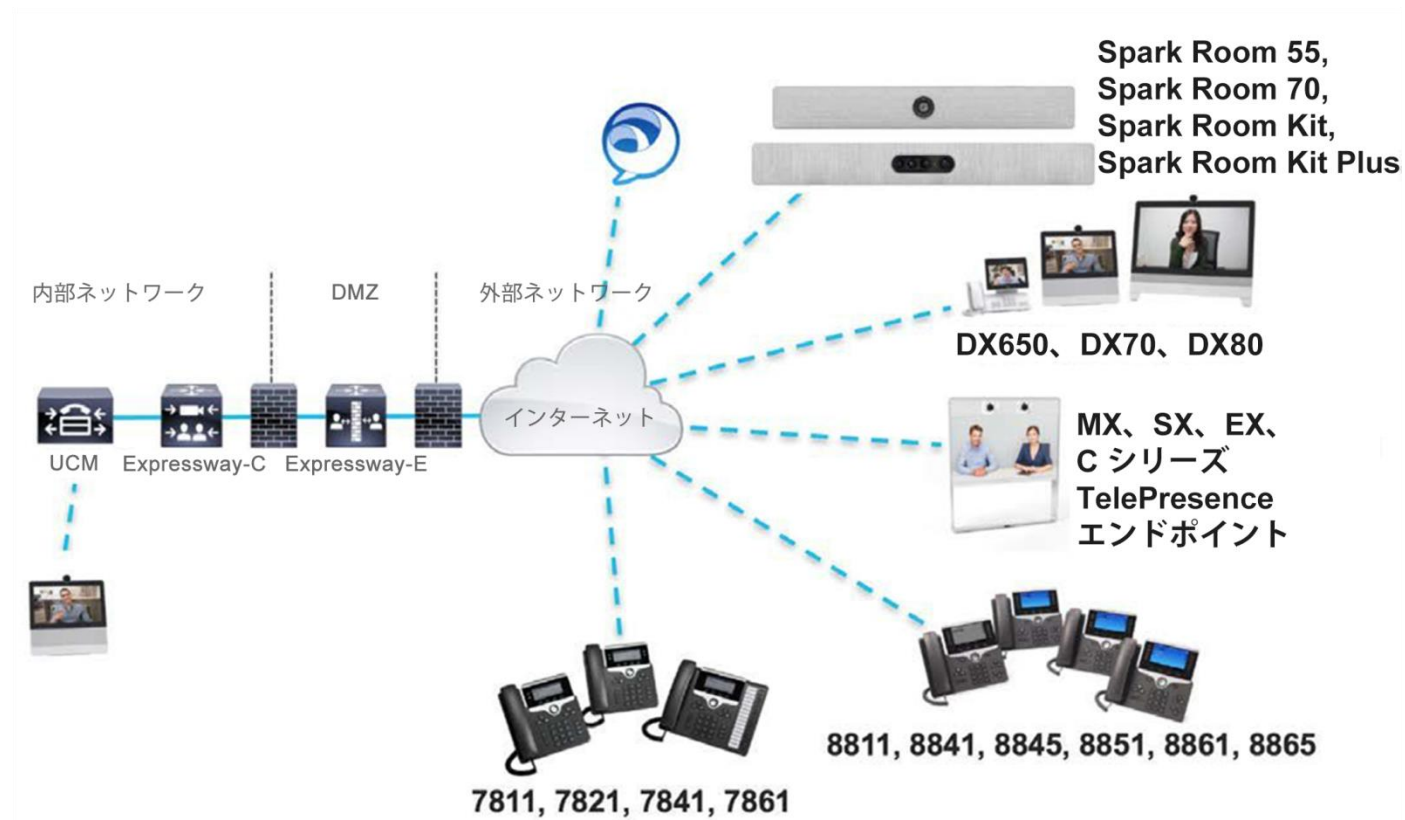


表 2. サーバ情報

アプリケーション	バージョン	URL	ユーザ名	パスワード
Microsoft Active Directory サーバ	2012 R2 Std	198.18.133.1	administrator	C1sco12345
Microsoft Exchange Server	2012 R2 Std	198.18.133.2	administrator	C1sco12345
Cisco TelePresence Management Suite	15.6	https://tms1.dcloud.cisco.com/	DCLOUD\administrator	C1sco12345
Cisco TelePresence Mgt Suite Extension for MS Exchange	5.6	https://tms1.dcloud.cisco.com/	DCLOUD\administrator	C1sco12345
Cisco Expressway - C	X8.10.3	https://vcsc.dcloud.cisco.com/	admin	dCloud123!
Cisco Expressway - E	X8.10.3	https://vcse.(collabedge- または cb) XXX.dc-YY.com/	admin	dCloud123!
Cisco Prime Collaboration サーバ	11.6	https://cpc1.dcloud.cisco.com/	globaladmin	dCloud123!
Cisco Unified IM/Presence サーバ	12.0(1)	https://cup1.dcloud.cisco.com/	administrator	dCloud123!
Cisco Unified Communications Manager	12.0(1)	https://cucm1.dcloud.cisco.com	administrator	dCloud123!
Cisco Meeting Server	2.2.9	https://198.18.134.175:445	admin	dCloud123!
Cisco Meeting Manager	1.0	https://cmm.dcloud.cisco.com	administrator	C1sco12345
Cisco Unity Connection サーバ	12.0(1)	https://cuc1.dcloud.cisco.com/	administrator	dCloud123!
Skype for Business 2015	2012 R2 Std	198.18.134.244	administrator	C1sco12345
VBrick Distributed Media Engine	3.17.1	https://198.18.135.47:8181/	admin	dCloud123!
VBrick Mongo DB	7.18	198.18.135.44	vbrick	dCloud123!
VBrick Elastic Search	7.18	198.18.135.45	vbrick	dCloud123!
VBrick HA Proxy ノード	7.18	198.18.135.43	vbrick	dCloud123!
VBrick Rev ノード	7.18	https://rev1.(collabedge- または cb) XXX.dc-YY.com/	dCloud\tbard	dCloud12345!
ワークステーション 1	Windows 10 Ent	198.18.1.36	DCLOUD\amckenzie	dCloud12345!
Workstation 2	Windows 10 Ent	198.18.1.37	DCLOUD\aperez	dCloud12345!
Workstation 3	Windows 10 Ent	198.18.1.38	DCLOUD\mcheng	dCloud12345!
Workstation 4	Windows 10 Ent	198.18.1.39	DCLOUD\wwhitman	dCloud12345!

Collaboration Edge アーキテクチャの概要を以下に示します。パブリック インターネットからプライベートな社内ネットワーク通信サービスまでの情報フローをご確認ください。

図 2. Cisco Collaboration Edge アーキテクチャ

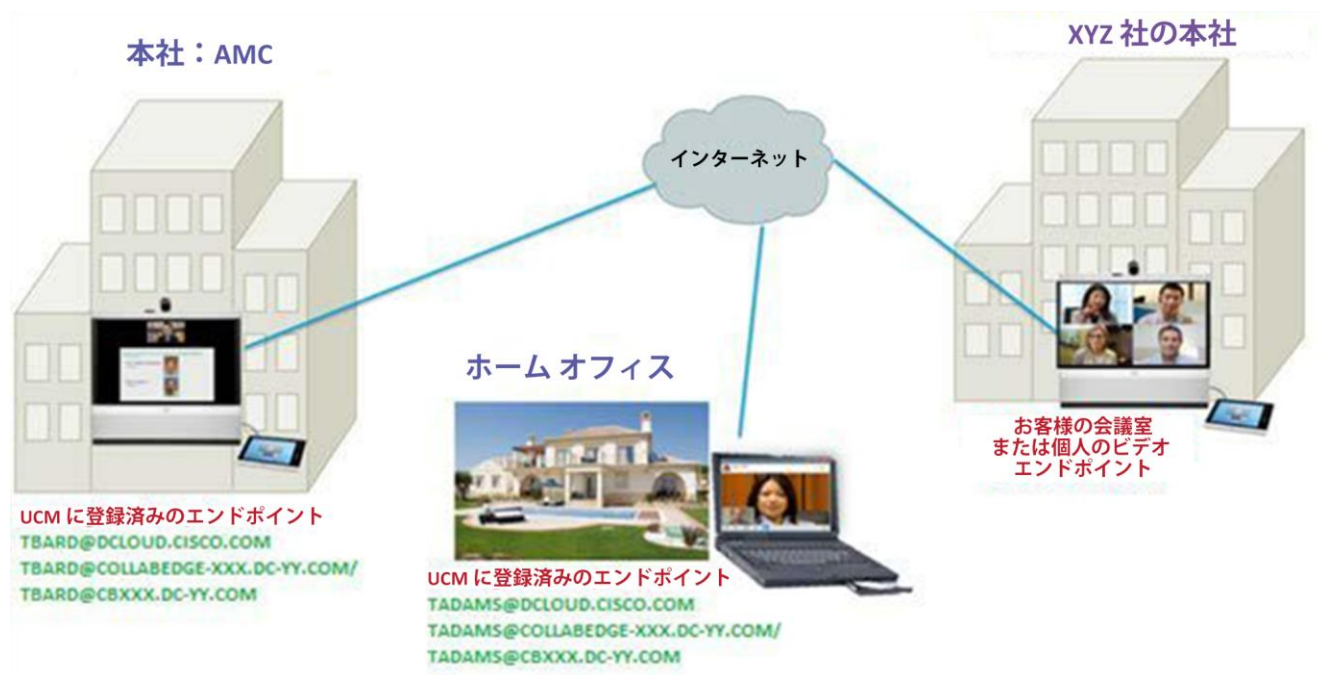


次の図は、各ユーザの場所を示しています。社内 LAN ユーザである外部コミュニケーション マネージャ、Taylor Bard は、このデモンストレーションでシミュレーションされている Atlas Motor Company (AMC) の本社にいます。AMC 社では、内部ドメイン `dcloud.cisco.com` と、パブリックでルーティング可能なドメインとして外部ドメイン (`collabedge- または cb`)`XXX.dc-YY.com` を使用しています。

MRA (モバイルおよびリモート アクセス) ユーザの Tanya Adams は、Atlas Motor Company の CEO で、遠隔勤務しています。Collaboration Edge を使用することで、インターネット環境下であれば、自宅などでもオフィスにいるときと同様に作業できます。

最後に、B2B (Business-to-Business) ユーザの Nichole Newton は、社外となるサプライ チェーン会社のオフィスにあり、ファイアウォールの外部から Collaboration Edge サーバを経由して会議に参加できます。このデモンストレーション ガイドの各シナリオには、各会議のコールフローを示す類似の図があります。

図 3. ロケーション別ユーザ



セッション ユーザ

表 3. 事前設定済みのユーザ情報

ユーザ名	ロール	ユーザ ID	パスワード	コール制御	エンドポイント デバイス	セルフプロビジョニング ID
Nichole Newton	外部企業のサプライ チェーン マネージャ			外部	dCloud UC に未登録の任意のビデオ エンドポイント。詳細については、B2B のセクションを参照してください。このユーザを好みのユーザと置き換えます。	該当なし
Tanya Adams	営業責任者	tadams	dCloud12345!	Cisco UCM	Cisco DX70 または DX80 を推奨	6024
Taylor Bard	イベント管理者	tbard	dCloud12345!	Cisco UCM	Cisco DX70 または DX80 を推奨	6025
Adam Mckenzie	プロジェクト マネージャ	amckenzie	dCloud12345!	Cisco UCM	Cisco DX70 または DX80 を推奨 ワークステーション 1 (Cisco Jabber for Windows 搭載)	6016
Anita Perez	セールス アカウント マネージャ	aperez	dCloud12345!	Cisco UCM	任意のシスコ ビデオ エンドポイント ワークステーション 2 (Cisco Jabber for Windows 搭載)	6017
Monica Cheng	シニア エンジニア	mcheng	dCloud12345!		Skype for Business クライアント搭載ワークステーション 3	該当なし
Walt Whitman	営業	wwhitman	dCloud12345!		Skype for Business クライアント搭載ワークステーション 4	該当なし

注:表 3 には、デモンストレーション ガイドとその説明における各ユーザのロールが示されています。このストーリーでは、使用可能なエンドポイント数に基づいて、別のロールを持ったユーザを追加することもできます。

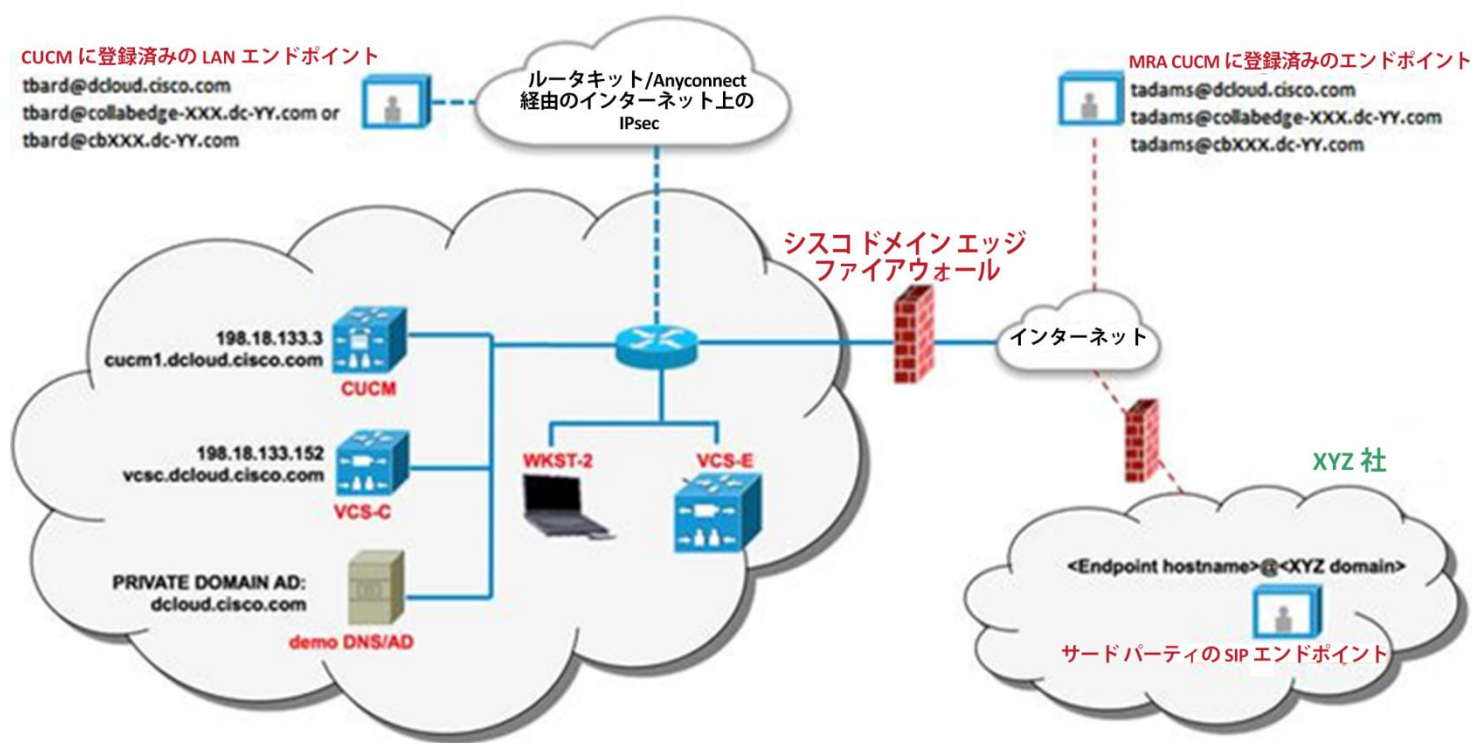
シミュレートされた AMC 社の各従業員は、社内 LAN 内では内部ドメインの **dcloud.cisco.com**、または MRA を介してリモートで作業している場合は外部ドメインの (**collabedge- または cb**)**XXX.dc-YY.com** のいずれかに、自身のコラボレーション エンドポイントを登録できます。

前述のとおり、このデモンストレーションでは、Tanya Adams と Taylor Bard の 2 人は AMC 社のエグゼクティブであり、Cisco Unified Collaboration アーキテクチャの MRA 機能を使用して、本社 LAN (Taylor) およびリモートの場所 (Tanya) に接続されています。

注:同時発生する多くの dCloud セッションでは、すべてのセッションに同じ内部ドメイン (**dcloud.cisco.com**) が必要で、これはパブリックにルーティング可能な (**collabedge- または cb**)**XXX.dc-YY.com** (各セッションに固有) に変換されます。これはベスト プラクティスに完全には準拠していませんが、リソースの拡張性を最大限まで引き出しており、B2B や MRA 機能を含む、VCS Expressway の完全な機能セットを例示しています。

このデモンストレーションのアーキテクチャとユーザの場所を、以下の図に示します。

図 4. アーキテクチャとユーザ接続



はじめに

デモンストレーションの前に

実際の対象者の前でプレゼンテーションを行う前に、このプロセスを少なくとも 1 回は実施しておくことを強く推奨します。そうすることで、ドキュメントとデモンストレーションの構成に慣れることができます。

お客様向けプレゼンテーションを成功させるためには、入念な準備が不可欠です。

次の手順に従ってデモンストレーションのスケジュールを組み、デモンストレーション環境を設定します。

1. dCloud セッションを開始します。[\[手順を見る\]](#)

注:セッションがアクティブになるまで最長で 60 分かかることがあります。

2. [表示 (View)] をクリックして、アクティブ セッションを開きます。
3. **ラップトップに Cisco AnyConnect** をインストールし、dCloud ユーザ インターフェイスで表示される AnyConnect クレデンシャルを使用して、アクセスします。[\[手順を見る\]](#)
4. ルータとラップトップを接続します。[\[手順を見る\]](#)

注:このデモンストレーションを正常に実行するために、Cisco dCloud ルータの使用を推奨します。このルータを使用すれば、このデモンストレーションですべての端末とユーザを活用できます。Cisco dCloud ルータを使用しない場合は、シスコ ビデオ対応製品のデモンストレーションを行うのに十分な音声とビデオの品質が得られない場合があります。

5. **Cisco AnyConnect VPN** [\[手順を見る\]](#) および**ラップトップのローカル RDP クライアント** [\[手順を見る\]](#) を使用して、デモンストレーション ワークステーションにラップトップを接続します。Cisco dCloud ルータの背後からセッションに接続する場合、AnyConnect VPN ではなくローカル RDP クライアントを使用してください。複数のラップトップを使用する場合は、各ワークステーションに 1 台ずつ接続します。
 - **ワークステーション 1** - IP アドレス: **198.18.1.36**、ユーザ名: **dcloud\lamckenzie**、パスワード: **dCloud12345!**
 - Cisco Jabber は、デモンストレーション ワークステーションに自動ログインします。自動ログインしない場合は、Cisco Jabber を閉じてから、デスクトップで **Cisco Jabber** アイコンをダブルクリックしてログインします。
 - **ワークステーション 2** - IP アドレス: **198.18.1.37**、ユーザ名: **dcloud\aperez**、パスワード: **dCloud12345!**
 - Cisco Jabber は、デモンストレーション ワークステーションに自動ログインします。自動ログインしない場合は、Cisco Jabber を閉じてから、デスクトップで **Cisco Jabber** アイコンをダブルクリックしてログインします。

注:デモンストレーション ガイドに明記されているように、リモート ワークステーション 2 のみを使用することを強く推奨します。ワークステーション 2 に不適切な設定変更やソフトウェア インストールがある場合は、セッション障害が発生する可能性があります。

6. Collaboration Edge 機能がセッションで正しくプロビジョニングされていることを確認します。
 - ワークステーション 1 から IE ブラウザ セッションを開き、[コラボレーション管理リンク (Collaboration Admin Links)] > [Cisco Expressway - C] の順にアクセスします。ユーザ名: **admin**、パスワード: **dCloud123!** でログインします。表示されるすべてのセキュリティ メッセージを受け入れます。
 - [構成 (Configuration)] > [ゾーン (Zones)] > [ゾーン (Zones)] タブをクリックし、2 つの**トラバーサル クライアント** ゾーンの設定詳細情報で SIP ステータスが [アクティブ (Active)] と表示されていることを確認します。DefaultZone で SIP ステータスは [オン (ON)] と表示されます。

注:これらのゾーンの SIP ステータスが [アクティブ (Active)] でない場合は、セッションに障害が発生しており、先へ進むことはできません。現在のセッションを終了し、新しいセッションを開始してください。これは、自動化エラーが原因で起こることがあります。

図 5. ゾーン ステータス

Name	Type	Calls	Bandwidth used	H323 status	SIP status	Processed Registrations	Search rule status	Actions
DefaultZone	Default zone	0	0 kbps	On	On	-		View/Edit
CEIcp-cucm1.dcloud.cisco.com	Neighbor	0	0 kbps	Off	Active	0	Enabled search rules: 1	View
<input type="checkbox"/> Cisco Meeting Server	Neighbor	0	0 kbps	Off	Active	0	Enabled search rules: 5	View/Edit
<input type="checkbox"/> CUCM Neighbor	Neighbor	0	0 kbps	Off	Active	-	Enabled search rules: 2	View/Edit
<input type="checkbox"/> Cup Neighbor	Neighbor	0	0 kbps	Off	Active	0	Enabled search rules: 2	View/Edit
<input type="checkbox"/> Skype4b FE	Neighbor	0	0 kbps	Off	Active	0	Enabled search rules: 2	View/Edit
<input type="checkbox"/> VCS-E for B2B video Traversal client	Traversal client	0	0 kbps	Off	Active	-	Enabled search rules: 2	View/Edit
<input type="checkbox"/> VCS-E for MRA	Unified Communications traversal	0	0 kbps	Off	Active	0	No search rules configured	View/Edit

New Delete Select all Unselect all Hide generated items

注:このガイドを説明どおりに実行するには、[表 3](#)に記載されている端末が 3 台以上必要です。少なくとも、Tanya Adams (MRA) と Taylor Bard (LAN) に 1 台ずつ、合計 2 台の Cisco UCM 端末を登録し、Nichole Newton (B2B) に割り当てられるサードパーティドメインに登録済みのエンドポイントを 1 つ以上特定する必要があります。

- MRA (モバイルおよびリモート アクセス) エンドポイント**をプロビジョニングします。このデバイスは、ホーム オフィスまたはその他のリモートの作業場所やモビリティ ロケーションから会議コールに接続しています。このルールは、Atlas Motor Company (AMC) 社の営業主任の **Tanya Adams (内線 6024)** に割り当てられます。彼女が使用可能な端末は、**Cisco TelePresence DX70/DX80**、**Cisco IP Phone 8845/8865**、または **Cisco Jabber** がインストールされているモビリティ端末です。[\[手順を見る\]](#)
- 社内 LAN エンドポイント**をプロビジョニングします。この端末は、オフィスの所在地で、社内ネットワーク内から会議通話に接続しています。このルールは Atlas Motor Company (AMC) 社のコミュニケーション マネージャの **Taylor Bard (内線 6025)** とプロジェクト マネージャの **Adam McKenzie (内線 6016)** に割り当てられています。彼らは、ビデオ対応のエンドポイントを使用できます。Cisco Unified Communications Manager のセルフプロビジョニング機能を使用して、電話をプロビジョニングします [\[手順を見る\]](#)。[表 3](#)に記載の内線番号を使用します。

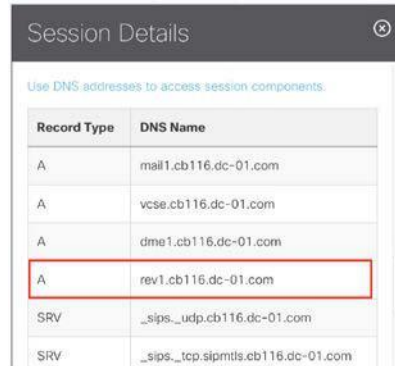
9. **シナリオ 5 に必須: TMS でルーム システムを見つけます。**シスコでは、お客様向けプレゼンテーションのために、各地に物理的な会議室を確保しています。次に示すいずれかの場所でプレゼンテーションを行うかのようにこのデモンストレーションを実行する場合、エンドポイントを会議室自体に割り当てて、会議室の電話と同様に扱うことができます。これは、セッションに使用する物理的な会議室の**仮想インスタンス**です。デバイスを Cisco dCloud ルータに接続し、次の表に記載したセルフプロビジョニング ID を使用して、上記のセルフプロビジョニング手順に従います。[\[手順を見る\]](#) [英語]

表 4. 事前設定された会議室の電話

データセンター	会議室の場所	デバイス名/ユーザ名	電話番号	セルフプロビジョニング ID
Americas	New York - George Washington Bridge	USANYC	+19725556051	6051
Americas	RTP - Little House on Prairie	USARTP	+19725556052	6052
Americas	SJC - Johnnie Walker	USASJC	+19725556053	6053
Americas	Toronto - NIPISSING	CANTOR	+19725556054	6054
Americas	Vancouver - Hornby	CANVAN	+19725556055	6055
EMEAR	London - Piccadilly	UKLON	+19725556056	6056
EMEAR	Berlin - Brandenburger	GERBER	+19725556057	6057
EMEAR	Dublin - Galway	IREDUB	+19725556058	6058
EMEAR	Stockholm - Berzelius	SWESKM	+19725556059	6059
EMEAR	Madrid - Mulhacen	SPAMAD	+19725556060	6060
APJC	Singapore - Outram Park	SINORP	+19725556061	6061
APJC	Beijing - Great Wall	CHIBJG	+19725556062	6062
APJC	Shanghai - Gui Zhi Xiang	CHISHG	+19725556063	6063
APJC	Tokyo Rhode Island	JAPTOK	+19725556064	6064

10. **シナリオ 1 に必須: B2B (ビジネス ツー ビジネス) エンドポイントのドメインを有効にします。**この端末は、別の会社のオフィスから、社内ネットワークを使用して会議に接続しています。このロールは、Nichole Newton に割り当てられます。このエンドポイントは dCloud Unified CM に登録されていないため、インターネットを介して SIP 通話を受発信できる場合に限り、**使用可能な任意のエンドポイント端末**を使用できます。[\[手順を見る\]](#)。お客様のビデオ インフラストラクチャが B2B コールをサポートしていない場合のバックアップ オプションとして、「[手順を見る](#)」ガイドを参照しながら異なる複数の B2B エンドポイントを設定しておくことを推奨します。
11. **シナリオ 2 と 4 に必須:** Distributed Media Engine 上で VBrick Rev の URL を変更して、デモンストレーションに割り当てられているダイナミック DNS エントリが使用されるようにします。
- ワークステーション 1 から、Internet Explorer を開きます。[コラボレーション管理リンク (Collaboration Admin Links)] ドロップダウンメニューから、[VBrick Distributed Media Engine - DME] を選択します。
 - ユーザ名: **admin**、パスワード: **dCloud123!** でログインします。

- [システム設定 (System Configuration)] に移動して、[Revインターフェイス (Rev Interface)] をクリックします。[Rev設定 (Rev Configuration)] セクション内で、[RevサーバのURL (Rev Server URL)] を変更します。
 - i. <https://rev1.dcloud.cisco.com> から [https://rev1.\(collabedge- または cb\)XXX.dc YY.com](https://rev1.(collabedge- または cb)XXX.dc YY.com) に変更します。
 - ii. 新しい DNS 名が [セッションの詳細 (Session Details)] 内に表示されます。



Use DNS addresses to access session components.

Record Type	DNS Name
A	mail1.cb116.dc-01.com
A	vcse.cb116.dc-01.com
A	dme1.cb116.dc-01.com
A	rev1.cb116.dc-01.com
SRV	_sips_udp.cb116.dc-01.com
SRV	_sips_tcp.sipmls.cb116.dc-01.com

- iii. [適用 (Apply)] をクリックしてから [OK] をクリックし、Rev インターフェイスを再起動して変更を適用します。

12. **オプション:** デモンストレーションにカスタム ユーザを追加します。これは、プレゼンテーションの対象者であるお客様と同じ名前のユーザを作成する場合に便利です。[\[手順を見る\]](#)

- 端末および電話回線をこのユーザのボイスメール サービスとともにプロビジョニングするには、**拡張エンドポイント サービス** のガイドに従ってください。[\[手順を見る\]](#)
- デバイスと電話回線をボイスメールなしでプロビジョニングするには、**エンドポイント サービス** のガイドに従ってください。[\[手順を見る\]](#)

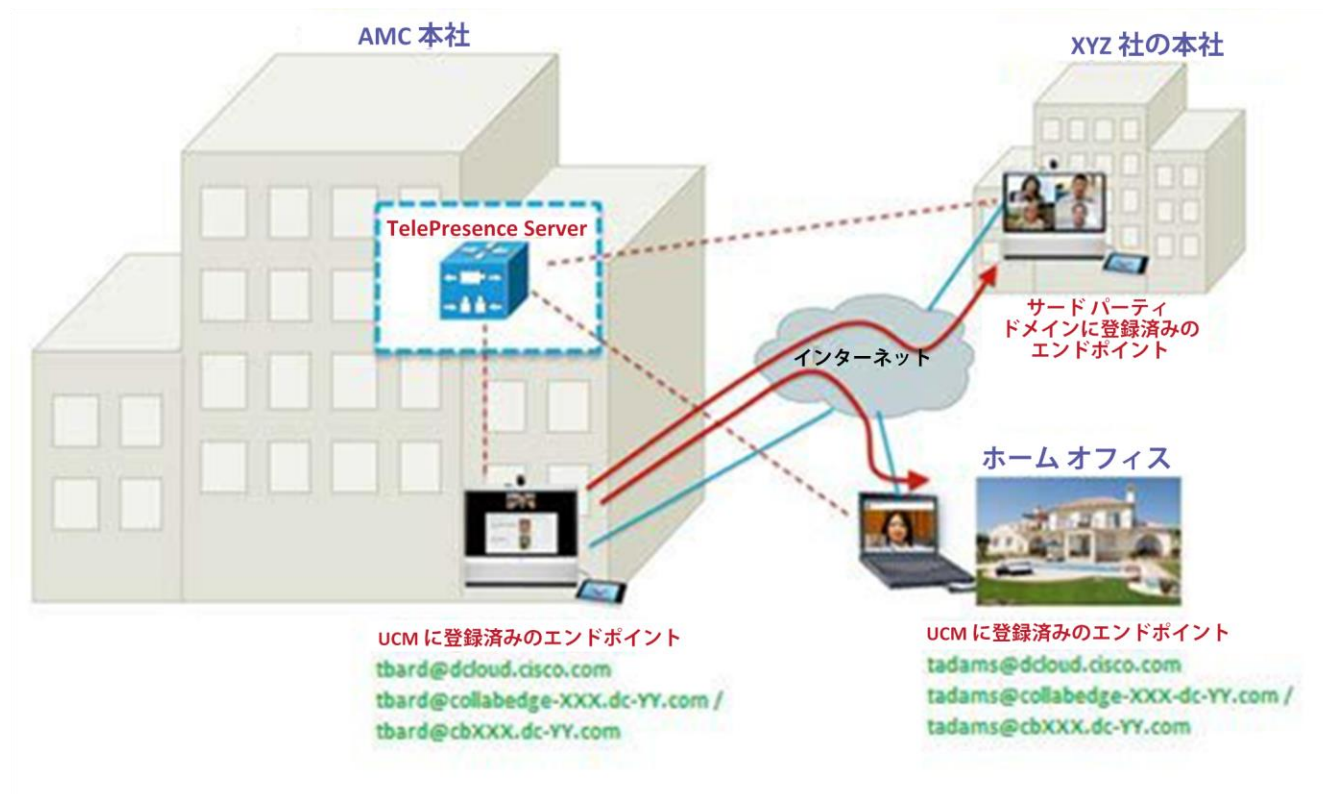
13. お客様に向けてデモを行う前に、LAN、MRA、B2B エンドポイント間のポイントツーポイント コールをすべてテストします。

注: このデモンストレーション セッションを保存する場合は、[付録 A](#) の手順に従ってください。保存によって Collaboration Edge 証明書が他のユーザに公開されるため、保存は必ずセッションを終了した後に行うようにしてください。

シナリオ 1: チーム パフォーマンス コール

このシナリオでは、Cisco TelePresence を使用して、複数の製品ファミリにまたがる 1 つの統合ソリューションで迅速かつ簡単にビデオ会議を行う方法を紹介します。ユーザは高度な専門知識がなくても、ピアツーピア コールから完全なマルチパーティビデオ会議に簡単に移行でき、コールのエスカレーションは自動的に行われます。リモートのチーム メンバーも、まるで一室に集まっているかのように、ドキュメントを共有して製品戦略を議論できます。Cisco TelePresence ソリューションが提供するハイエンドの音声と HD 品質のビデオは、今日の市場では類を見ないコラボレーション体験をもたらします。

図 6. シナリオ 1 のユーザの場所とコール フロー



デモンストレーションの手順

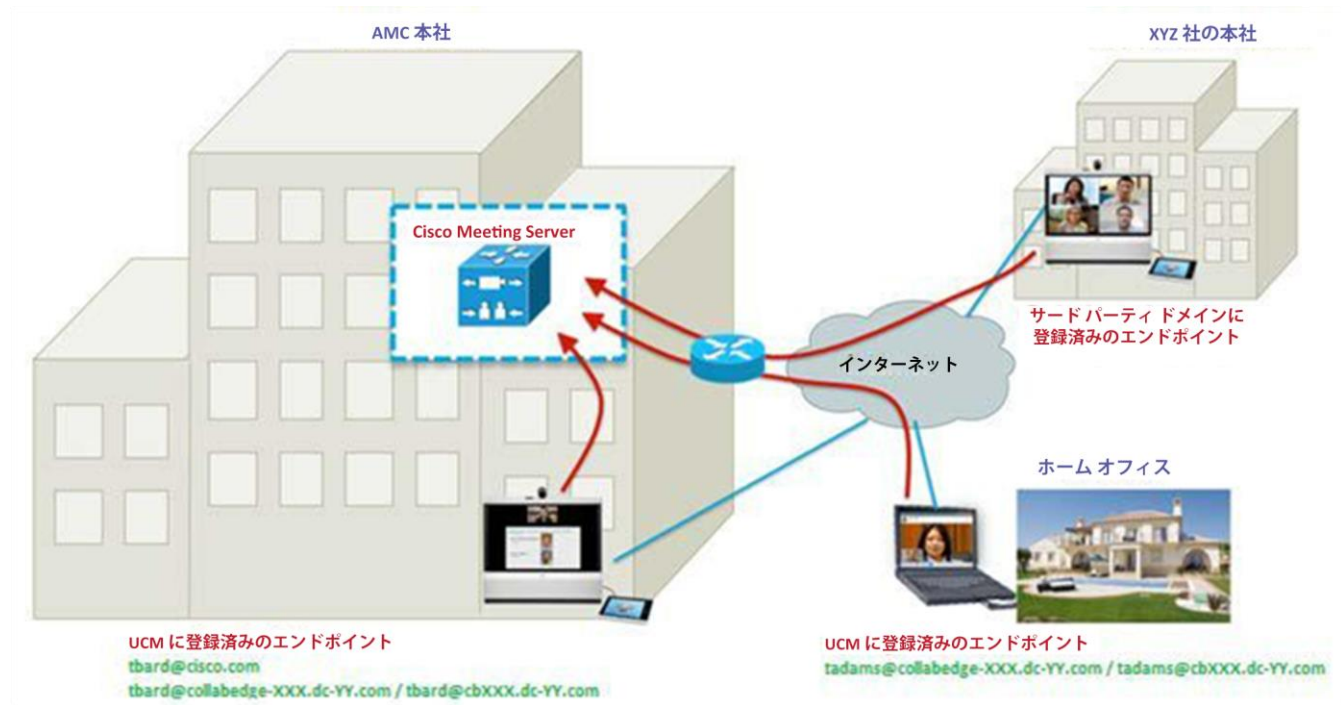
手順	説明の要点	操作
1	<p>こんにちは、Taylor Bard です。Atlas Motor Company (AMC) の経営幹部です。現在は、当社の新しい高級セダン Talos の外部コミュニケーション マネージャを務めています。</p> <p>水素燃料車の Talos を、来週の再生可能エネルギー会議で発表します。発表会までにまとめることがたくさんあるので、シスコの統合型ビジネス ビデオ ソリューションを活用して 1 日の仕事を合理化して早く終わらせ、製品発表会の成功を目指しています。</p> <p>昨晚、当社の CEO である Tanya Adams から、パートナー企業のサプライチェーン マネージャを務める Nichole Newton との緊急会議が必要だというメッセージを受け取りました。</p>	<ul style="list-style-type: none">この紹介の手順の間は、アクションは必要ありません。

手順	説明の要点	操作
2	<p>私の 1 日は、Tanya Adams へコールすることから始まります。彼女は、サプライ チェーンが直前になって Talos の設計変更を要求したと説明します。これは、来週開催予定の製品発表会のタイミングにも影響します。</p> <p>私は会議に Nichole Newton を追加し、Tanya とのポイントツーポイント ビデオ通話をマルチパーティ会議にエスカレートさせます。私達は Talos プロジェクトの発売準備について検討し、特にデザイン変更に関する最新情報について相談します。</p> <p>簡単にコラボレーションできるだけでなく、高画質ビデオと高音質の音声を体験できます。Tanya は、今朝は自宅で仕事をしていますが、Jabber クライアントまたは TelePresence エンドポイントを使用してビデオ会議にシームレスに参加できます。</p> <p>Nichole は、Cisco Collaboration Edge の B2B 機能を活用して会議に参加します。</p> <p>私達は PC 上のプロジェクトドキュメントを共有し、最終変更に対応できるように発表のスケジュールを検討し直します。</p> <p>プロジェクト レポートを見直したうえで、私達は Talos の発表を延期せずに、当初の予定通り会議の初日に行うという合意に至ります。私達は Web サイトで製品発表の詳細にいくつかの変更を加え、発売変更に向けてすべてのシニア リーダーと連携する必要があります。</p> <p>価値提案:</p> <ul style="list-style-type: none"> フル HD ビデオとダイヤルしやすい会議番号 リモート コラボレーション ソリューションの柔軟性の向上 さまざまなタイプの端末で会議中にビデオと音声を共有可能 デスクトップとコンテンツの共有が簡単 Collaboration Edge アーキテクチャによって、発信者は、<i>同じ社内 LAN に属しているかのよう</i>に、複数の場所や組織から参加できる 	<ul style="list-style-type: none"> 社内 LAN ユーザ (Taylor Bard) : 内線 6024 または tadams@dcloud.cisco.com で Tanya Adams 宛てにダイヤルして、[発信 (Call)] を選択します。MRA ユーザ (Tanya Adams) が通話に応答します。接続されたら、エコーの影響を回避するために両方の電話で [ミュート (Mute)] ボタンを押します。 Taylor Bard のエンドポイントで [追加 (Add)] ボタンを押し、サードパーティのデバイス URI を入力します。DNS およびファイアウォールの設定で B2B ビデオ通話が許可されている場合、企業構内または顧客の企業ドメイン内にあることが想定されます。VCS Expressway のホワイトリストにサードパーティドメインを追加したことを確認してください。追加しないと通話が許可されず、切断されてしまいます。[「はじめに」のセクションの説明] サードパーティの端末 (Nichole Newton) : 通話に応答し、自身をミュートにします。 Taylor Bard のエンドポイントで [マージ (Merge)] ボタンを押すと、エンドユーザがそれ以上操作しなくても、自動的に通話がマルチパーティビデオ会議にシームレスにエスカレートされます。 オプション: TelePresence エンドポイントからのビデオ ケーブルをプレゼンテーション用のラップトップに接続し、[PC の表示 (View PC)]、[共有 (Share)] の順に選択します。この PC 接続を使用して PC のドキュメントを会議スペースに表示します。

シナリオ 2: 経営幹部の仮想円卓会議

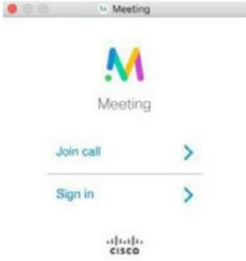
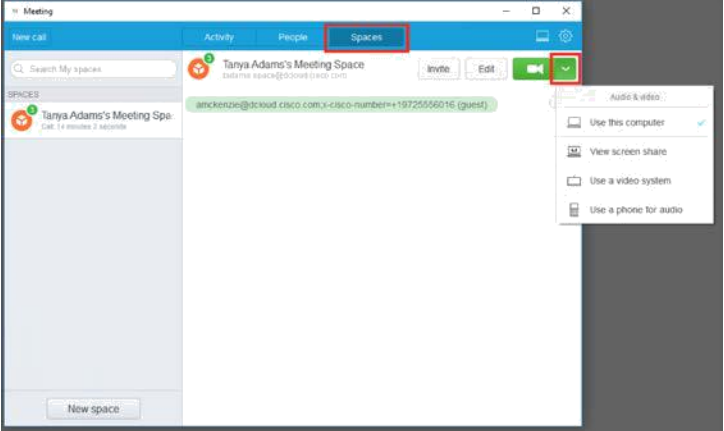
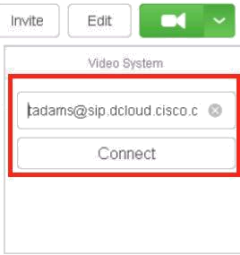
このシナリオでは、専用会議室でビデオ会議をホストする際に、**Cisco Meeting Server** が強力なツールを提供する仕組みを説明します。Cisco Meeting Server **Space** は、Collaboration Meeting Room のブリッジです。各ユーザーには、Cisco Meeting Server 上のスペースが提供されます。

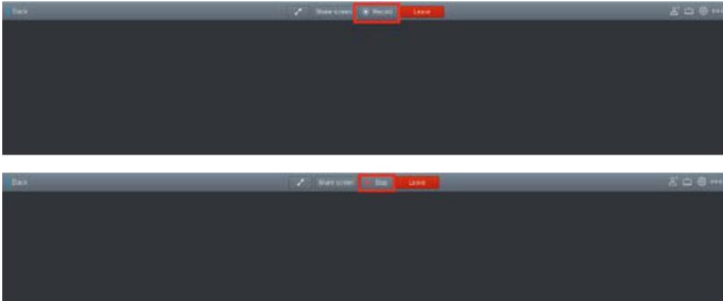
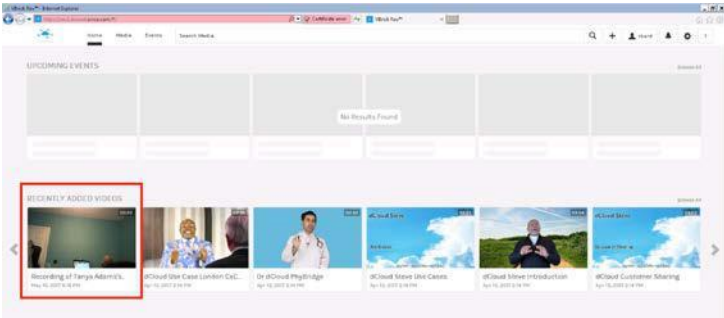
図 7. シナリオ 2 のユーザの場所とコール フロー



デモンストレーションの手順

手順	説明の要点	操作
1	(Taylor Bard) エグゼクティブ リーダーシップ チームの全員が、Tanya の Cisco Meeting Server ユーザ スペース に参加します。会議ブリッジにダイヤルするだけで、高画質ビデオと高品質の音声を体験できます。	<p>すべてのエンドポイントから Tanya Adams のユーザ スペースに参加します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 社内 LAN ユーザ: Taylor Bard のビデオ エンドポイントから ダイヤルパッド を選択して、tadams.space@a.dcloud.cisco.com をダイヤルします。接続すると、「Cisco Meeting Server の会議へようこそ。会議に参加します (Welcome to a Cisco Meeting Server meeting, you are entering the meeting now)」という音声メッセージが流れます。 • B2B ビデオ ユーザ: Nichole Newton のエンドポイントから ダイヤルパッド を選択し、会議番号として 860000@(collabedge- または cb) XXX.dc-YY.com を入力して、[発信 (Call)] を選択します。プロンプトが表示されたら、コール ID を入力し、続いて # を入力します。コール ID は、ダイヤルするユーザの下 4 桁の数字です。この手順では、Tanya の 6024 です。

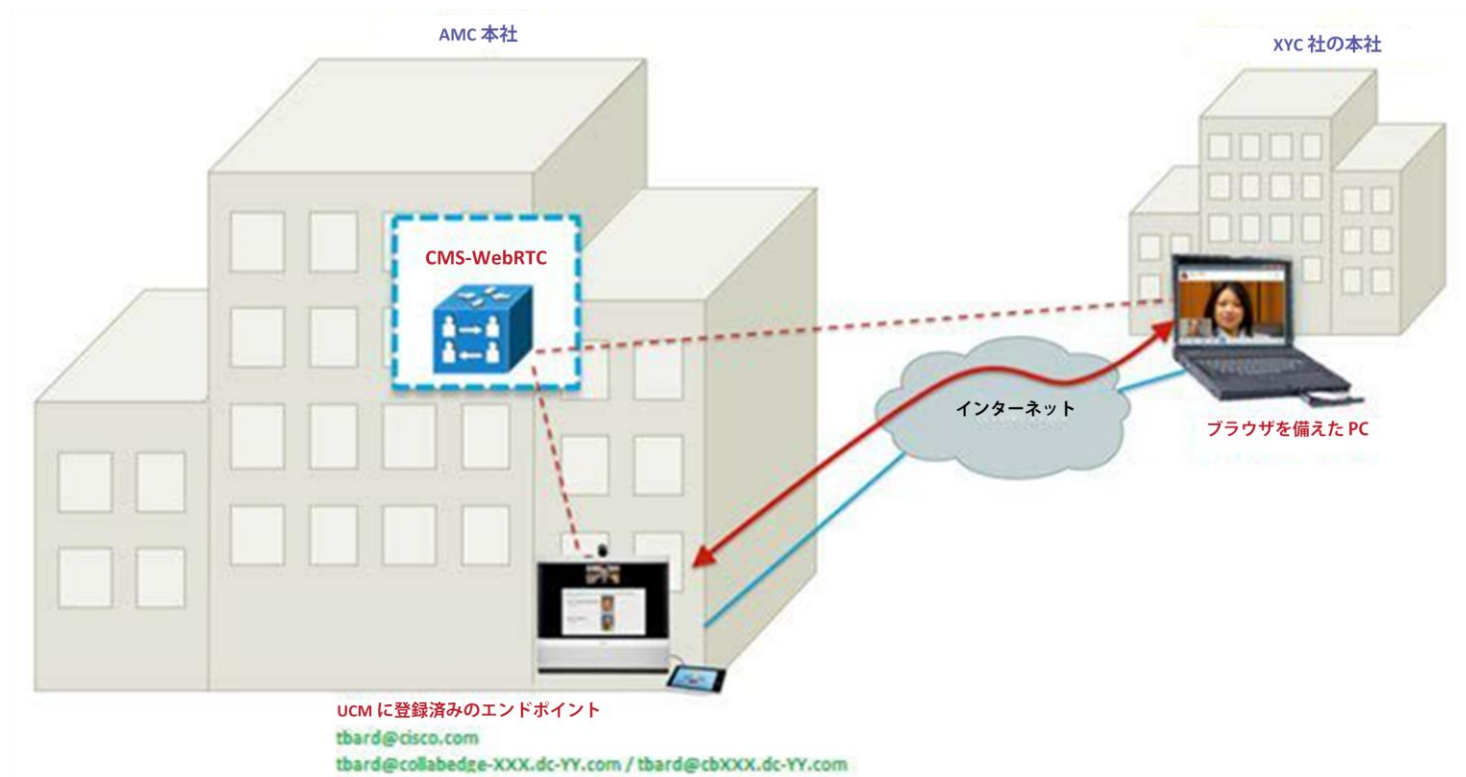
手順	説明の要点	操作
2	<p>Tanya は会議中に、Talos の発売発表に関する最新の修正について説明します。Nichole は予期しなかった問題に関して技術的な詳細情報を伝え、Tanya はチームメンバーの役割に基づいて各メンバーにタスクを割り当てます。</p> <p>価値提案:</p> <ul style="list-style-type: none"> • Cisco Meeting Server Space により、ユーザは個人用の Cisco Meeting Server ユーザスペースを使用して、ビデオ会議を簡単に行うことができます。スペースは常に使用できるため、あらかじめスケジュールを設定しておく必要はありません。ログインするだけですぐにコラボレーションを開始できます。 • Cisco Meeting Server Space により、柔軟性の高い会議スペースがユーザに提供されます。これらのスペースをビデオ コラボレーション クライアントとして使用し、Cisco Meeting Server Space または Cisco Unified Communication 端末を利用する他のユーザに通話を発信することができます。 	<ul style="list-style-type: none"> • MRA ユーザ:ワークステーション 1 で Cisco Meeting App を開き、[サインイン (Sign-In)] をクリックします。  <ul style="list-style-type: none"> • パスワード: dCloud12345! を使用して、tadams@dcloud.cisco.com としてサインインします。 • 以下に示されるように [スペース (Spaces)] タブをクリックしてから [ビデオ (Video)] の下矢印アイコンをクリックして、[ビデオシステムの使用 (Use a video system)] を選択します。  <ul style="list-style-type: none"> • Tanya Adams のビデオ アドレス tadams@sip.dcloud.cisco.com を入力して、[接続 (Connect)] をタップします。  <ul style="list-style-type: none"> • Tanya のプロビジョニングされた MRA 電話で通話に応答します。 <p>注: 音声フィードバック防止目的で電話をミュートする場合でも、ターニヤの電話は必ずミュート解除状態のままにしておきます。そうしないとセッションが記録されません。</p>

手順	説明の要点	操作
3	<p>参照用としてこのディスカッションを保存し、すべてのアクション項目をキャプチャするために、Tanya はこの会議を録画することになります。</p>	<p>ワークステーション 1 で Tanya Adams として Cisco Meeting App を使用します。</p> <ul style="list-style-type: none"> [録画 (Record)] ボタンをクリックします。「この会議は録画されています (This meeting is recorded)」という通知が流れます。録画を停止するには、[停止 (Stop)] ボタンをクリックします。  <ul style="list-style-type: none"> すべての参加端末から通話を終了/退出します。 オプション: ビデオ端末からのビデオ ケーブルをプレゼンテーション用のラップトップに接続し、[PC の表示 (View PC)]、[共有 (Share)] の順に選択します。この PC 接続を使用して PC のドキュメントを会議スペースに表示します。
4	<p>4 会議の録画へアクセスする</p> <p>(Taylor Bard) 私には、企業 Web サイトを更新するというアクション項目があります。このサイトにできるだけ早く新しい情報を追加する必要がありますが、チームと開催した会議の録画を参照しなおす必要があります。</p> <p>Taylor は、VBrick ポータルから録画を直接視聴できます。</p> <p>Taylor は録画を視聴し、必要な情報を入手して、アクション項目を完了することができます。</p>	<p>ワークステーション 1、またはエンドポイント ルータキットもしくはローカル ネットワークに接続されている物理的な PC/Mac で、次の操作を行います。</p> <ul style="list-style-type: none"> http://rev1.(collabedge- または cb)XXX.dc-YY.com にアクセスします。 ユーザ名: tbard、パスワード: dCloud12345! でログインします。 [最近追加されたビデオ (Recently Added Videos)] セクション内に、Tanya Adams の録画があります。  <ul style="list-style-type: none"> ビデオ録画をダブル クリックし、[再生 (play)] を押してコンテンツを視聴します

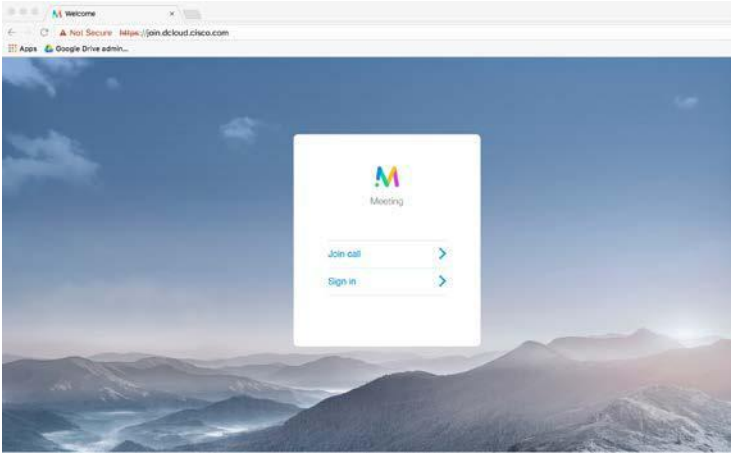
シナリオ 3: 企業と顧客間 (B2C) のコラボレーション

Cisco Meeting Server WebRTC を使用すると、ラップトップのカメラとマイクしか持たないエンド ユーザでも、セットアップと共有が簡単でセキュアな通信チャンネルを介して、企業内にいる相手とのビデオ コールに参加できます。このシナリオでは、ビジネス パートナーは Talos プロジェクトの最新の変更について検討する必要があります。Cisco Meeting Server リンクを使用すると、Taylor Bard のビデオ対応コラボレーション エンドポイントに接続され、ビデオ コールが彼のスペースに直接つながるため、Taylor と簡単に話することができます。

図 8. シナリオ 3 のユーザの場所とコール フロー



デモンストレーションの手順

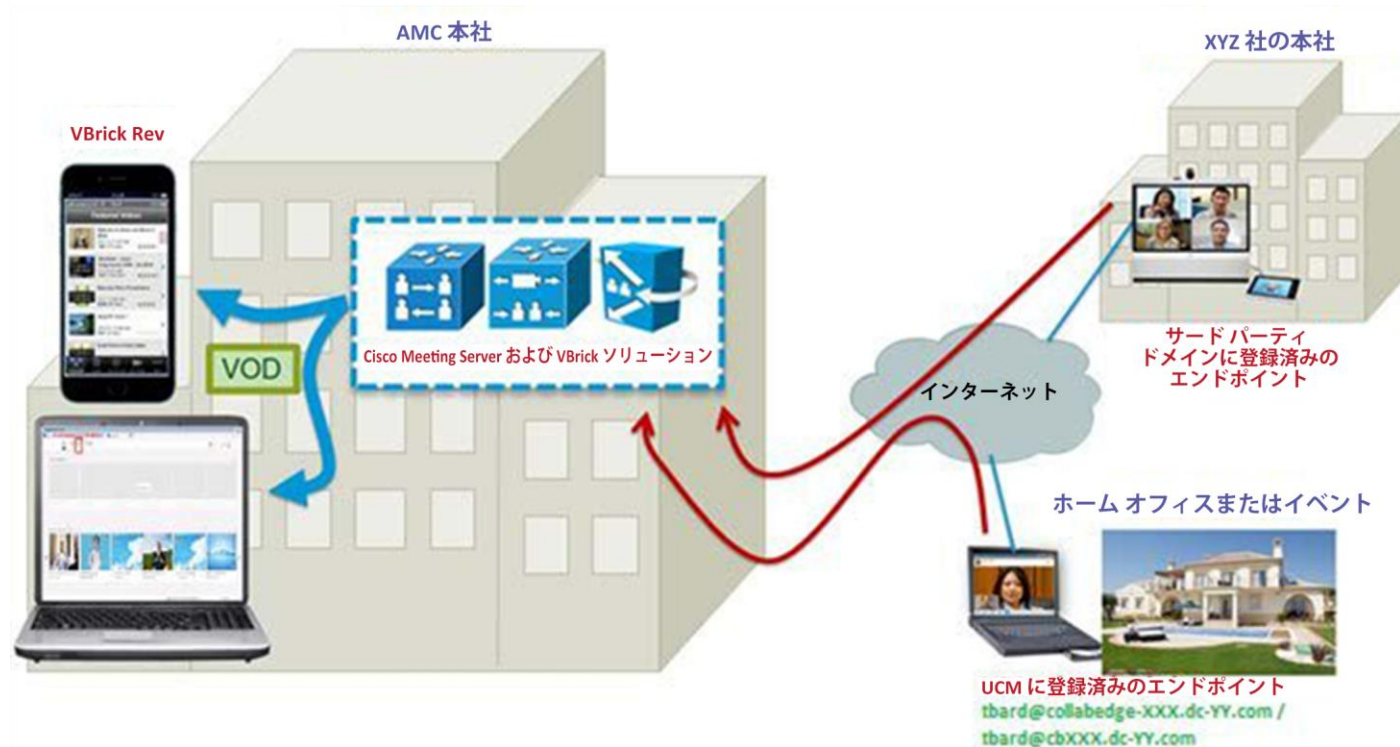
手順	説明の要点	操作
1	<p>(Taylor Bard)再生可能エネルギーの会議に関する自社 Web サイトが変更され、メイン ページにはパートナーとお客様に最新の変更を知らせるための注意書きが追加されました。</p> <p>AMC のすべてのトップ ビジネス パートナーに変更が通知され、AMC の外部コミュニケーション マネージャである私に、メール、音声、またはビデオで直接連絡を取る方法について詳しく説明されました。</p> <p>再生可能エネルギー会議にも参加しているあるパートナーは、当社との共同プロジェクトをいくつか抱えているため、この変更についてさらに話し合うことを希望しています。そこで、提供されたリンクから WebRTC ベースのビデオ通話を実施して、その件について相談します。</p> <p>WebRTC は無料のクライアントであり、シンプルな API によりブラウザとモバイル アプリケーションでリアルタイム コミュニケーション (RTC) を実現します。WebRTC クライアントは、ハードウェア ビデオ エンドポイントがなくても Cisco Meeting Server ユーザスペースに接続することができる代替的な方法です。視覚的なやりとりによってコミュニケーションの成果が高まり、生産性も大きく向上します。オフィスから移動することなく、トピック全体にすばやく対応でき、影響を受けるプロジェクトに必要な調整を加えることができます。</p>	<p>注: WebRTC クライアントは RDP クライアントからは操作できません。したがって、デモンストレーション用のワークステーションは使用できません。ビデオ カメラとマイクが搭載されている個人のラップトップを使用してください。推奨される Web ブラウザは Google Chrome です。</p> <p>テレフォニー サービスを利用していない新規従業員または顧客として:</p> <ul style="list-style-type: none"> 個人のラップトップで Chrome ブラウザを開き、http://cmsweb.collabedge-またはcb)XXX.dc-YY.com にアクセスします。[詳細 (Advanced)] をクリックしてから [cmsweb] に進みます。会議に参加するには、以下のような操作が必要です。Cisco UCM エンドポイントから Cisco Meeting Server WebRTC へのポイントツーポイントのコールを行うことはできません。  <ul style="list-style-type: none"> [通話に参加 (Join Call)] をクリックし、次の詳細を入力します。 <ul style="list-style-type: none"> コール ID: ユーザの内線番号の下 4 桁。Taylor は 6025 です。 パスワード: 未設定。 [続行 (Continue)] をクリックし、名前を入力して、[通話に参加 (Join Call)] をクリックして Taylor Bard のスペースに参加します。接続後、ローカルのカメラとマイクをブラウザで使用できるようにするために、[許可 (Allow)] をクリックします。

手順	説明の要点	操作
2	<p>Taylor Bard が会議に参加する</p> <p>Taylor は、割り当てられた会議時間に自分の Cisco Meeting Server Space にダイヤルします。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 社内 LAN ユーザ: Taylor Bard のビデオ エンドポイントからダイヤルパッドを選択し、会議ブリッジ番号として 860000 を入力して、[発信 (Call)] を選択します。 プロンプトが表示されたら、コール ID を入力し、続いて # を入力します。コール ID は、ダイヤルするユーザ内線番号の下 4 桁の数字です。この手順では、Taylor のユーザスペースは 6025 です。 会議に参加できます。完了したら、通話を終了します。
3	<p>価値提案:</p> <ul style="list-style-type: none"> ビデオ通話は、ラップトップのマイクとカメラしか持たないエンドユーザでも利用可能です。 WebRTC は、ユーザのスペースにダイヤルし、エンドユーザへのセキュアな接続を使用して通話を開始します。 WebRTC リンクは、パートナーやお客様と簡単に共有できます。 	<p>このステップでは操作は必要ありません。</p>

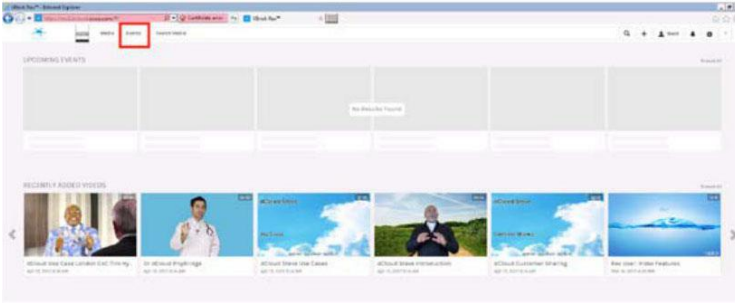
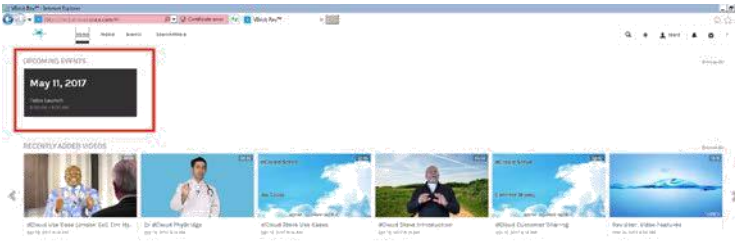
シナリオ 4: 公式発表のライブ イベント

Cisco TelePresence 製品は、レコーディング スタジオのカメラとして機能し、Cisco Meeting Server から Distributed Media Engine (DME) へのストリーミング ビデオを使用して VBrick Rev ポータルにライブ イベントをブロードキャストします。ユーザは、組織内の PC、スマートフォン、タブレットなど、インターネット接続された任意のデバイスでライブ ストリームを表示できます。

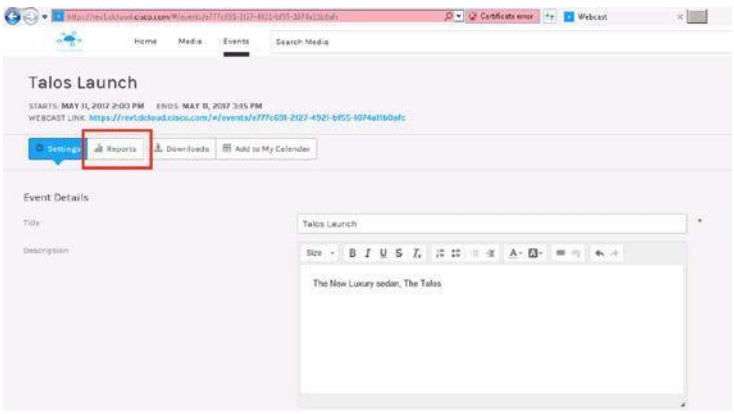
図 9. シナリオ 4 のユーザの場所とコール フロー



デモンストレーションの手順

手順	説明の要点	操作
1	<p>デモ前のタスク:ライブ イベントのスケジュールングおよび Cisco Meeting Server の統合</p> <p>(Taylor Bard)</p> <p>ライブ イベントは今日です。私は VBrick Rev にログインして、イベントを作成します。数分のうちにアンケート、チャット、Q&A、およびすべてのコール オプションを含むイベントを作成できます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ワークステーション 1 で Internet Explorer を開きます。 http://rev1.(collabedge- または cb)XXX.dc-YY.com にアクセスします。 ユーザ名: tbard、パスワード: dCloud12345! でログインします。 ページ上部の [イベント(Events)] タブをクリックします。  <ul style="list-style-type: none"> 今日の日付をクリックします。 タイトルを Talos Launch に設定します。イベントの説明を The new luxury sedan, the Talos と入力します。 お客様との会議の開始時間を設定します。参照として、ラップトップではなくワークステーション 1 の時間を使用します。終了時間は、開始時間の 1 時間後(デフォルト)にしておきます。 [プレゼンテーションプロファイル(Presentation Profile)] を [CMS] に設定します。 ユーザ アクセスの [リストタイプ(Listing Type)] を [すべてのユーザ (All Users)] に設定します。 複数のアカウント チーム メンバーが参加する場合、「Tanya Adams」をイベント モデレータに設定できます。そうでない場合は、空白のままにします。 [アンケート(Polls)]、[チャット(Chat)]、および [Q&A] を [有効 (enabled)] に設定します(必要な場合)。 必要に応じて背景画像を、選択した画像ファイルに設定します。 [Save(保存)] および [OK] をクリックします。ホームページをクリックして、[もうすぐ開催されるイベント(Upcoming events)] 下にイベントが表示されていることを確認します。 

手順	説明の要点	操作
2	<p>(Taylor Bard)私は、Talos の発売を発表するライブ イベントを行い、すぐにフィードバックを共有し、世界的な販売会議の中で Talos が当社にとっていかに大きな 1 歩となるのかを説明する準備ができています。</p> <p>全世界にこれを配信するために、私は発表にビデオ エンドポイントを使用しています。VBrick Rev ポータルでライブ ビデオ ストリームをブロードキャストしながらプレゼンテーションを行うことができます。</p> <p>MRA 機能のおかげで、私達はイベント中に Tanya のモバイル デバイスを使用してプレゼンテーションを行うことができます。</p> <p>(オプション) Nichole は B2B ゲスト スピーカーとしてイベントに参加します。</p>	<p>Taylor Bard をホストとしてイベントを開始します。</p> <ul style="list-style-type: none"> 社内 LAN ユーザ: Taylor Bard のビデオ エンドポイントからダイヤルパッドを選択して、会議 URI の live1.space@a.dcloud.cisco.com を入力します。 ワークステーション 1 で Internet Explorer を開きます。 http://rev1.(collabedge-またはcb)XXX.dc-YY.com にアクセスします。 ユーザ名: tbard、パスワード: dCloud12345! でログインします。 ホームページで、[もうすぐ開催されるイベント(Upcoming Events)] - [Talosの発売発表(Talos Launch)] をクリックします。 [Webキャストの開始(Start Webcast)] をクリックして、右上隅の [ブロードキャスト(Broadcast)] ボタンをクリックします。  <ul style="list-style-type: none"> MRA ユーザ: Tanya Adams のビデオ エンドポイントから、会議番号として 860000 を入力して、[発信(Call)] を選択します。プロンプトが表示されたら、コール ID を入力し、続いて # を入力します。コール ID は、ダイヤルするユーザ内線番号の下 4 桁の数字です。この手順では、会議は 6090 です。 (オプション) サードパーティのビデオ ユーザ: Nichole Newton のビデオ エンドポイントからダイヤルパッドを選択し、会議番号として 860000@(collabedge-またはcb)XXX.dc-YY.com を入力して、[発信(Call)] を選択します。プロンプトが表示されたら、コール ID を入力し、続いて # を入力します。コール ID は、ダイヤルするユーザ内線番号の下 4 桁の数字です。この手順では、会議は 6090 です。 (オプション) CMS WebRTC ユーザ: 個人のラップトップで Chrome ブラウザを開き、http://cmsweb.(collabedge-またはcb)XXX.dc-YY.com にアクセスします。[詳細(Advanced)] をクリックしてから [cmsweb] に進みます。[通話に参加(Join Call)] をクリックし、コール ID として 6090 と入力します。名前を入力し、[通話に参加(Join Call)] をクリックします。

手順	説明の要点	操作
3	<p>会社の接続されているコンピュータや会社のモバイルデバイスを通じて、すべての従業員がこの発表をライブ視聴できます。</p> <p>私達が話している間、Cisco Meeting Server と Distributed Media Engine は自動的に録画しています。VBrick Rev は、セッションを変換して、Web ポータルで配信できるよう準備します。</p> <p>価値提案:</p> <ul style="list-style-type: none"> • VBrick Rev ポータルを介して通信の到達範囲を拡大 • 会議番号をダイヤルし、あとは Cisco TelePresence と VBrick ソリューション に任せただけで、あらゆるビデオ対応端末からライブイベントを簡単に共有 	<p>企業の従業員:</p> <ul style="list-style-type: none"> • ワークステーション 2 で Internet Explorer を開きます。 http://rev1.(collabedge-またはcb)XXX.dc-YY.com にアクセスします。 • ユーザ名: aperez、パスワード: dCloud12345! でログインします。 • ホーム ページで、[もうすぐ開催されるイベント(Upcoming Events)] - [Talosの発売発表(Talos Launch)] をクリックします。 • Rev で、CMS から DME へのライブ ストリームを視聴します。 • ワークステーション 1 で、イベント内の [イベント終了(End Event)] をクリックして、すべての通話を終了します。 <p>注: イベントは少なくとも 2 ~ 3 分実行してください。お客様からの質問を受け付けます。これは、システムにレポートを生成する時間を与えるために行います。</p> <ul style="list-style-type: none"> • ワークステーション 1 で Internet Explorer の [VBrick Rev] タブに移動します。 • イベントに戻り、上部の [レポート(Reports)] ボタンをクリックして、分析を表示します。 

手順	説明の要点	操作
4	<p>VoD の管理および再生</p> <p>Rev の機能の 1 つに、デジタル コンテンツ ライブラリの管理があります。これは、カテゴリおよびキーワードタグを個々のビデオに割り当てることによって行われます。たとえば、「custom」という言葉を検索する場合は、タイトル、タグに基づいて、およびクローズド キャプション ファイルが添付されているかどうかに基づいて検索された結果のリストを確認します。その言葉がビデオで話されている場合、ビデオ内でその言葉が述べられたポイントにすぐにジャンプするオプションがあります。</p> <p>また、特定グループのユーザのみがビデオを視聴できるように、ビデオに対するユーザのアクセス権限を設定したり、コメントやダウンロードなどの特定機能を有効または無効にすることもできます。</p> <p>さらに、音声テキスト変換サービス用に VoiceBase をネイティブに統合することもできます。これにより、ボタンを押すだけで、ビデオを音声テキスト変換用のサーバに送信できます。その後、SRT ファイルが添付で自動的に返信され、ビデオ内のスピーチ検索およびクローズド キャプションが有効になります。</p> <p>最後に、Rev はユーザのアクティビティも追跡して、システム全体のレベルと、イベントやビデオごとのレベルの両方でレポートを表示します。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ワークステーション 1 で、ページ上部の検索バーに「Steve」と入力します。エクスペリエンスを最適化するためには、ローカル PC から Rev を参照します。 これにより、タイトルまたは説明文中にキーワードが登場するカタログが検索されます。検索結果からいずれかのコンテンツをクリックすると、再生が始まります。数秒間再生してから、再生を一時停止します。 右上隅の [設定 (settings)] をクリックします。  <ul style="list-style-type: none"> ユーザ権限、タグ、カテゴリを設定したり、機能を有効化/無効化する機能を呼び出します。 [詳細 (advanced)] タブをクリックして、音声テキスト変換のためにビデオを送信します。  <ul style="list-style-type: none"> [キャンセル (Cancel)] をクリックしてビデオに戻り、ページ下部までスクロールしてレポートを表示します。 

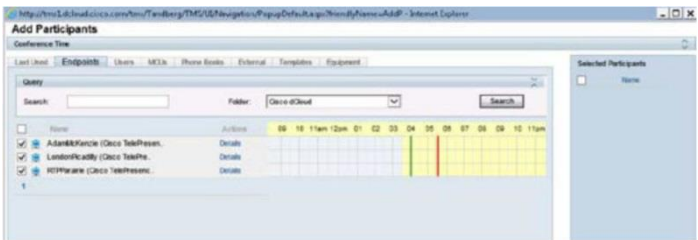
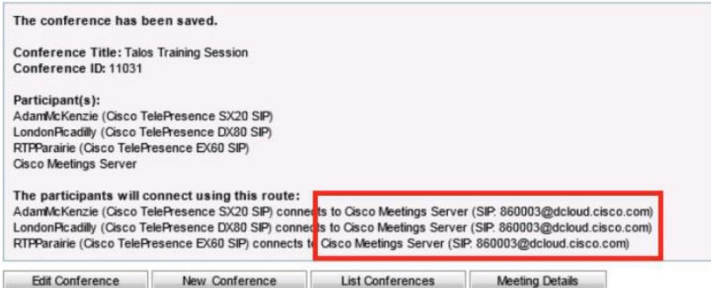
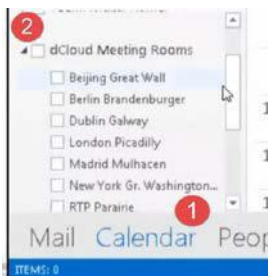
手順	説明の要点	操作
5	<p>価値提案:</p> <ul style="list-style-type: none"> Rev は、純粋な Web ベースのユーザ エクスペリエンスであり、モバイル対応の Web 設計プラクティスを活用しているため、ダウンロード、インストール、および管理を行うアプリケーションはありません。 Rev ポータル ホームページは、お客様の好みに合わせてカスタマイズできます。左上隅に、お客様のロゴ画像をアップロードできます。お客様のブランドに合わせて、カラー スキームを変更できます。お客様の好きな順序で表示するように、カルーセルを編集できます。 Rev では、SAML 2.0 を使用して LDAP または SSO 経由でユーザを認証するよう設定できます。 	<ul style="list-style-type: none"> 通常の PC、タブレット、および電話の画面サイズに基づいて Rev インターフェイスがダイミックに調整されることを示します。 カルーセルがカスタマイズできることを示します。dCloud ロゴは左上隅にアップロードされています。

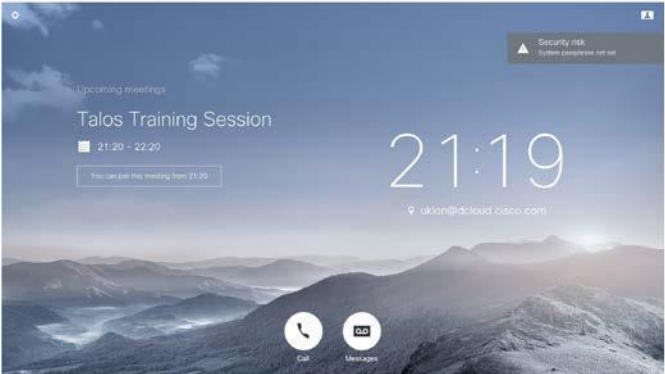
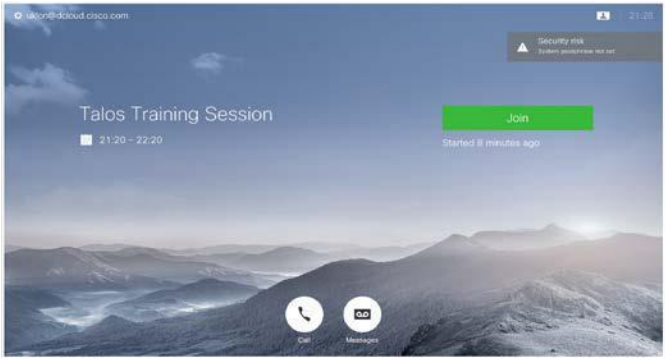
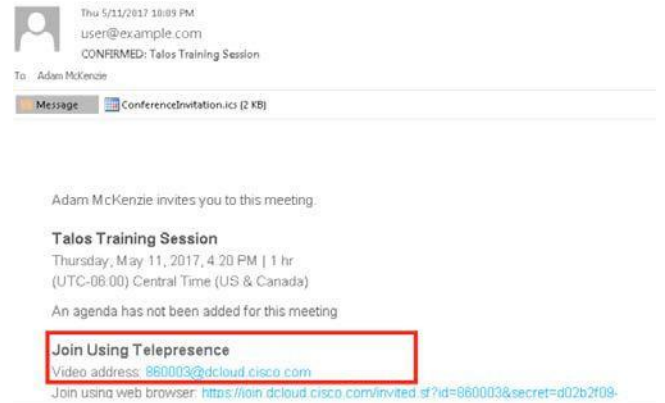
シナリオ 5: 新製品の社内トレーニング

次のシナリオでは、Adam が AMC の従業員とのトレーニング ミーティングをホストする準備を整えています。シスココラボレーションによって、チームは別の場所においても接続を維持し、情報を効率的に共有できます。

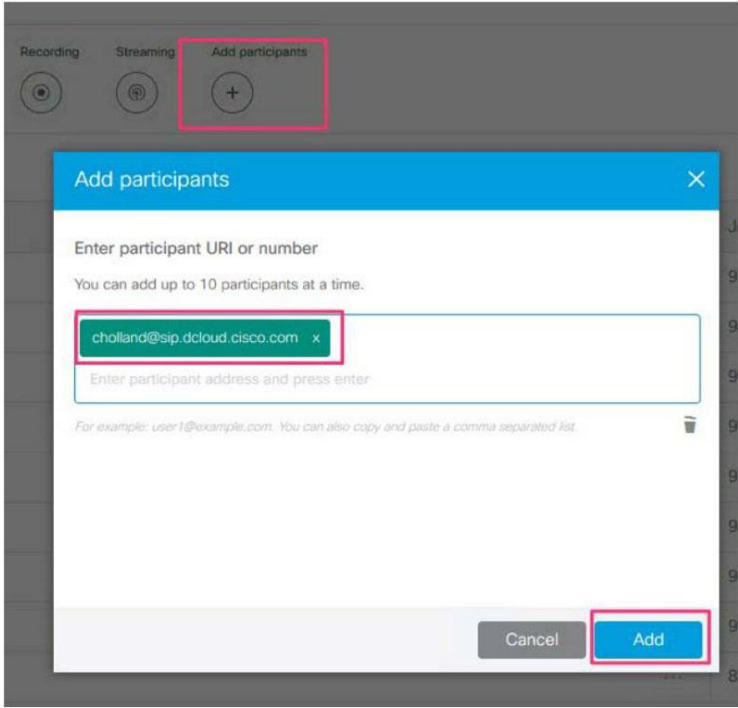
デモンストレーションの手順

手順	説明の要点	操作
1	<p>Adam は、AMC の従業員に対して、新しい Talos 製品の社内トレーニング セッションをホストしています。彼は、TelePresence Management Suite を使用して会議をスケジュールしようとしています。</p> <p>Cisco TelePresence Management Suite Extension for Microsoft Exchange (TMSXE) を使用すると、他の会議と同じように簡単に TelePresence 会議をスケジュールできます。この使いやすさによってビデオ会議の普及が進み、従業員間のコラボレーションが向上します。</p>	<p>Adam は自分およびシスコの仮想会議室による会議をスケジュールします。</p> <ul style="list-style-type: none"> ワークステーション 1 で Internet Explorer を開きます。[コラボレーション管理リンク(Collaboration Admin Links)] ドロップダウンメニューから、[Cisco TelePresence Management Suite] を選択します。セキュリティ メッセージを受け入れます。 メイン メニューから [予約(Booking)] > [新規会議 (New Conference)] に移動します。  <ul style="list-style-type: none"> [タイトル(Title)] に Talos Training Session と入力します。 [開始時刻 (Start Time)] を入力します。ページの下の方にあるサーバタイムを参照します。OBTP が端末上に読み込まれる時間を考慮して、開始時刻まで 5 分以上の猶予を設けます。 [持続時間 (Duration)] を [1:00] (1 時間) に設定します。 [タイプ (Type)] ドロップダウン リストで [ワンボタン (One Button To Push (OBTP))] が選択されていることを確認します。 最初の画面で [参加者の追加 (Add Participants)] をクリックします。 

手順	説明の要点	操作
2	<p>同僚および TelePresence ルームの予定を確認して、会議を予約できます。Cisco TMS は、ルーティング ロジックやその他の会議リソース (Cisco Meeting Server など) を自動的に処理します。</p> <p>全世界にこれを配信するために、私は発表にビデオエンドポイントを使用しています。VBrick Rev ポータルでライブ ビデオ ストリームをブロードキャストしながらプレゼンテーションを行うことができます。</p> <p>MRA 機能のおかげで、私達はイベント中に Tanya のモバイル デバイスを使用してプレゼンテーションを行うことができます。</p> <p>(オプション) Nichole は B2B ゲストスピーカーとしてイベントに参加します。</p> <p>価値提案:</p> <p>TMSXE の利点:</p> <ul style="list-style-type: none"> • 視覚的な情報提供: 同僚および TelePresence 会議室の空き状況をリアルタイムで表示することにより、会議をスケジュールする時間を簡単に決定できます。 • スケジュールリングの同期: スケジュールされた会議に関する最新情報は Microsoft と Cisco TMS の両方で入手でき、Cisco TMSXE は Exchange と TMS の間で会議情報を同期します。 • 使いやすさ: 使い慣れた Microsoft Outlook インターフェイスを使用することで、個人、会議室、および再開する会議を即時かつ直感的にスケジュールすることができるため、管理上のオーバーヘッドが軽減され、普及が促進されます。 	<p>Adam として、引き続き会議をスケジュールします。</p> <ul style="list-style-type: none"> • [エンドポイント (Endpoint)] タブをクリックし、Taylor Bard のビデオエンドポイントを選択して、以前に TMSXE に追加されたシスコの会議室をクリックします。  <ul style="list-style-type: none"> • 右矢印 [➡] をクリックします。 • [OK] をクリックして前のメニューに戻ります。 • [会議の保存 (Save Conference)] をクリックします。 • 画面が更新されて会議情報が表示されることを確認します。  <ul style="list-style-type: none"> • 情報に、会議タイトルと会議 ID が表示されます。CMS が使用され、3 人のダイヤルイン参加者が番号 ID 86000[0-9] で許可されています。 • ワークステーション 1 で (Adam McKenzie として) Outlook を開きます。[受信箱 (Inbox)] > [TMS] に移動して、会議の通知を表示します。[カレンダー (Calendar)] タブで [dCloud 会議室 (dCloud Meeting Rooms)] ボックスをクリックし、カレンダーを表示して予約を確認します。 

手順	説明の要点	操作
3	<p>参加者全員が各自のデバイスで招待状を受け取り、会議に参加します。</p> <p>会議室:</p> <p>Adam のトレーニング セッションに参加している従業員は、ワンボタン(OBTP)機能を使用できます。自分のビデオ エンドポイントから会議に直接接続する、非常にシンプルで簡単な方法です。</p> <p>Taylor Bard:</p> <p>Taylor は OBTP を使用して会議に参加します。ビデオ エンドポイントが CMS スペースを直接呼び出して、音声およびビデオを接続します。彼は PC を接続して自分のプレゼンテーションを共有することもできます。</p> <p>Tanya Adams:</p> <p>Tanya は自宅で作業していますが、Collaboration Edge モバイルおよびリモート アクセス(MRA)を介してシスコ コラボレーション デバイスを社内ネットワークに接続しています。受け取った招待状によって、彼女は自分のシスコ コラボレーション デバイスから直接 URI アドレスをダイヤルし、会議に接続します。</p> <p>シスコのコラボレーション テクノロジーのおかげで、Adam はトレーニング セッションを AMC の従業員に配信できます。</p>	<p>各自の端末から会議に参加します。</p> <ul style="list-style-type: none"> 会議室のビデオ エンドポイント:会議の開始時間前に、今後開催される会議の通知が会議室のディスプレイ/タッチ パネルに表示されます。また、会議に参加できるときにも通知されます。  <ul style="list-style-type: none"> 時間になると会議室の参加者は OBTP 機能を使用できます。[参加 (Join)] ボタンをクリックします。  <ul style="list-style-type: none"> (オプション): Tanya は MRA ビデオ エンドポイントを使用しています。招待状により、端末からビデオ アドレスの 86000[0-9]をダイヤルします。 

手順	説明の要点	操作
4	<p>Adam McKenzie として： テクニカル サポート エンジニアとして、私にはこの会議でもう 1 つの役割があります。注目度の高い会議であるため、会議の監視を任されています。私はこの会議を CMM (Cisco Meeting Manager) を使用して監視します。</p> <p>CMM を使用して、この会議に参加した全参加者、または会議を離れた全参加者、参加者がダイヤルした場所、ビデオおよび音声ストリームのジッターまたは遅延があるかどうかを監視できます。また、必要に応じて、参加者のミュート/ミュート解除、会議への参加者の追加/削除、参加者のカメラのオン/オフを行うこともできます。また、私は参加者の会議ビューのレイアウトを変更することができます。</p>	<p>Workstation 1 で (Adam McKenzie として)：</p> <ul style="list-style-type: none"> • Cisco Jabber を使用して会議に参加します。Outlook の招待状を開き、会議への招待通知に記載されているビデオ アドレス 86000[0-9] をダイヤルします。 • Internet Explorer を開き、[コラボレーション管理リンク (Collab Admin Links)] > [Cisco Meeting Manager] の順に移動します。 • ユーザ名：administrator、パスワード：C1sco12345 でログインします。 • 左ペインから、[会議 (Meetings)] をクリックします。これで、Cisco Meeting Server (CMS) 上のすべてのアクティブな会議が表示されます。  <ul style="list-style-type: none"> • アクティブな Lync 会議 (前述の手順で参加した会議) をクリックします。すべての参加者、参加時刻、およびミュートまたはミュート解除などの操作が表示されます。 • 任意の参加者をクリックして、音声、ビデオ、通話タイプ、オーバーレイなどの参加者の詳細を確認します。また、希望する場合、この会議の録画を開始できます。 

手順	説明の要点	操作
5	<p>Adam McKenzie として:</p> <p>私は、新しい参加者 Walt Whitman を会議に追加する必要があります。CMM で、[参加者追加 (Add participants)] をクリックし、Charles のダイヤリング URI を入力して [追加 (Add)] をクリックします。ライブミーティングで簡単にこの変更を行うことができます。</p> <p>Walt Whitman として:</p> <p>優先度の高いプロジェクトの検討を続けている重要な会議があります。会議の開催者が進行をつとめているので、この時点で開催者が私を追加することはできません。幸いなことに Adam McKenzie は CMM を使用しており、開催者の手を煩わせずに私を会議に直接追加できます。</p> <p>Adam が私を会議に追加すると、私のエンドポイントが呼び出されます。コールに応答するだけで、私は自動的に会議に接続され、会議に参加することができます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 参加者の詳細ページを閉じます。 [参加者追加 (Add Participants)] をクリックし、wwhitman@s4b.dcloud.cisco.com を追加して <Enter> を押し、[追加 (Add)] をクリックします。これで、ワークステーション 4 の Walt Whitman にダイヤルされます。 (オプション): Cisco UC 端末を追加するには、アドレスを <端末 ID>@sip.dcloud.cisco.com としてダイヤルします。  <ul style="list-style-type: none"> ワークステーション 4 で通話に応答し、参加者リストが CMM で更新されていることを確認します。 これですべての端末で電話を切ることができます。 <p>注:このデモでは、CMM から参加者を追加する場合には画面共有を無効にすることができます。</p>

付録 A: デモンストレーションの保存

セッションのカスタム バージョンを保存するには、次の手順に従う必要があります。

デモ セッションごとに、パブリックにルーティング可能な IP アドレスが動的に割り当てられるため、デモを保存して新しいインスタンスを起動すると、以前取得したものと異なるドメインおよび IP が割り当てられます。そのため、デモンストレーションを保存するたびに下記の手順を繰り返す必要があります。この手順は、Collaboration Edge 関連の設定をリセットし、デモンストレーションを正しく保存できるよう準備するために実行する必要があります。

重要: 下記の手順に従わなかった場合は、保存されたデモンストレーションが破損し、Collaboration Edge 機能が動作しなくなります。このようなシナリオでは、保存されたデモンストレーションを修復できず、変更やカスタマイズがすべて失われます。

注: ワークステーション 2 を変更した場合、その変更がデモンストレーション ガイドに記載されている内容以外の場合は、保存プロセスが失敗する可能性があります。このような原因で破損したセッションは回復不能です。

- ローカルの RDP プログラムまたは Cisco dCloud リモート デスクトップ クライアントを使用して、デモンストレーションのワークステーション 2(198.18.1.37)にアクセスします [手順を見る]。ユーザ名: **dcloudlaperez**、パスワード: **dCloud123!** でログインします。
- CMD コンソール ウィンドウを開き、**ResetCerts** と入力します。
- Collab Edge 証明書のリセットには 15 ~ 20 分かかります。プロセスが終了するまで何も行わないでください。特にスクリプトが完了するまでは、ワークステーション 2 の操作はしないでください。
- Firefox ブラウザを開き [コラボレーション管理リンク (Collaboration Admin Links)] > [Cisco Video Conferencing Server - Control] の順にアクセスします。ユーザ名: **admin**、パスワード: **dCloud123!** でログインします。セキュリティ メッセージを受け入れます。
- [設定 (Configuration)] > [ゾーン (Zones)] > [ゾーン (Zones)] タブをクリックし、2 つのトラバーサル クライアント ゾーンのいずれかをクリックします。設定の詳細情報に SIP ステータスが [失敗 (Failed)] と表示されることを確認します。
- ピア 1 アドレス**は、**vcse.(collabedge- または cb)999.dc-YY.com** である必要があります。YY はデータセンターに依存し、01 は AMER、02 は EMEAR、03 は APJ です。

図 10. ゾーン設定



- これで通常のデモ保存プロセスを続行できます。詳細については、Cisco dCloud の [ヘルプ ページ](#) [英語] を参照してください。

©2018 Cisco Systems, Inc. All rights reserved.

Cisco、Cisco Systems、およびCisco Systemsロゴは、Cisco Systems, Inc.またはその関連会社の米国およびその他の一定の国における登録商標または商標です。本書類またはウェブサイトに掲載されているその他の商標はそれぞれの権利者の財産です。

「パートナー」または「partner」という用語の使用は Cisco と他社との間のパートナーシップ関係を意味するものではありません。(1502R)

この資料の記載内容は2018年3月現在のものです。

この資料に記載された仕様は予告なく変更する場合があります。



シスコシステムズ合同会社

〒107 - 6227 東京都港区赤坂9-7-1 ミッドタウン・タワー
<http://www.cisco.com/jp>

お問い合わせ先